

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月23日

上場取引所 東

上場会社名 ハチバン

コード番号 9950

URL <http://www.hachiban.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 後藤 克治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長

(氏名) 酒井 守一

TEL 076-292-9950

四半期報告書提出予定日 平成26年7月25日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年3月21日～平成26年6月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,679	2.4	1,544	2.8	82	△12.5	173	△7.7	96	△6.8
26年3月期第1四半期	1,640	2.7	1,502	2.1	94	54.7	187	86.5	103	128.8

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 182百万円 (73.0%) 26年3月期第1四半期 105百万円 (351.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
27年3月期第1四半期	6.04	—
26年3月期第1四半期	7.16	—

(注) 営業収益は売上高と営業収入の合計であります。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	5,350	3,708	68.9	231.54
26年3月期	5,131	3,565	69.5	222.58

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 3,686百万円 26年3月期 3,565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	2.00	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年3月21日～平成27年3月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,550	3.7	3,274	4.2	185	△25.7	261	△26.6	147	△26.8	9.17
通期	6,983	7.0	6,445	7.6	285	△14.2	368	△17.3	191	△9.7	11.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 営業収益は売上高と営業収入の合計であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	16,040,558 株	26年3月期	16,040,558 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	24,430 株	26年3月期	23,810 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	16,016,360 株	26年3月期1Q	14,494,174 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績見直しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見直しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想数字と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策の推進により、企業業績や個人消費は回復基調をもって推移しております。その一方で消費税増税の影響は、依然として先行きに不透明感が残る状況となっております。

外食産業におきましては、消費者の節約志向は依然として強く、また、原材料やエネルギーコスト等の上昇、異業種との競争が続くなど、厳しい状況が続いております。

このような状況のもと当社グループは、継続して「食の安心・安全」の維持向上に努め、お客さまの信頼を最優先に、事業活動を展開しております。そして、より高品質・より健康志向の商品を開発して提供することに注力しております。

当第1四半期連結会計期間末の当社グループの店舗数は、加盟店2店舗（海外）を新規開店する一方、加盟店都合による3店舗（国内加盟店1店舗、海外加盟店2店舗）の閉店があり、店舗数は257店舗（前期末比1店舗減、うち国内加盟店1店舗減、海外加盟店同数）となっております。その内訳は、らーめん店舗133店舗、和食店舗12店舗、海外店舗112店舗であります。

なお、タイ王国における海外事業の重要性が増してきていることにより、当第1四半期連結会計期間から、非連結子会社であった株式会社ハチバントレーディング（タイランド）を連結子会社へ、持分法非適用関連会社であったダブルフラワリングカメラ株式会社を持分法適用関連会社として、それぞれ連結の範囲に含めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、連結対象会社の増による海外事業のスープ・エキス売上の増加により15億44百万円（前年同期比2.8%増）、営業収益（売上高とロイヤリティ収入の合計）は、16億79百万円（前年同期比2.4%増）となりました。営業利益は原価コストアップの抑制に努めましたが、本社工場の設備更新による減価償却費ほか関連諸費用等の増加により82百万円（前年同期比12.5%減）、経常利益は1億73百万円（前年同期比7.7%減）、四半期純利益は96百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

セグメント別の状況につきましては次のとおりであります。

①外食事業

(らーめん部門)

日本国内における8番らーめんフランチャイズチェーンの展開を主とするらーめん部門においては、店舗改装による店舗イメージの刷新、より高品質・より健康志向の商品の提供、接客サービスの維持向上に取り組み、来店客数の増加に努めております。

8番らーめんでは、主力商品である野菜らーめんの品質向上を最重要テーマとして取り組んでおります。また、「健康あとおし食材」や「地元食材」を活かした商品開発の一つとして、石川県能登地区の伝統野菜である「中島菜（なかじまな）」を麺に練り込んだ「能登中島菜ざるらーめん」を新発売しました。

これらの営業諸施策を展開しましたが、前年同期に実施した「タイ100店舗感謝フェア」の活況には届かず、8番らーめんチェーン既存店売上高前年比は99.6%となりました。

店舗展開の状況につきましては、加盟店都合による閉店1店舗があり、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は133店舗（うち加盟店店舗数116店舗、直営店舗数17店舗、前期末比1店舗減）となっております。

(和食部門)

主として八兆屋、長八、野ふうど等の和食料理店を直営店方式により展開する和食部門においては、個店ごとの店舗特徴や立地特性をよりアピールするほか、季節の変化に応じた健康志向メニューの提供に取り組み、来店客数の増加に努めております。その結果、既存店売上高前年比は105.9%となりました。当第1四半期連結会計期間末の店舗数は12店舗（前期末比同数）であります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益（売上高とロイヤリティ収入等の合計）は14億6百万円（前年同期比0.5%減）、経常利益は1億85百万円（前年同期比8.9%減）となりました。

②外販事業

当社製品を主要販売品目とする外販事業は、生麺ブランド「八番麺工房」、生冷凍餃子を国内各地の生活協同組合様、量販店様を中心に販売の拡大に努めております。

以上の結果、より厳しさを増す生麺市場の販売競争の中で、当第1四半期連結累計期間の売上高は1億65百万円（前年同期比4.0%減）、経常利益は本社工場の設備改修工事に伴い、製品の保管を外部倉庫で行ったことによる費用増加により0百万円（前年同期比88.6%減）となりました。

③海外事業

8番らーめんフランチャイズチェーンエリアライセンス契約による海外店舗展開ならびに主としてラーメンスープ・エキスの食材の輸入と販売を行う海外事業においては、既存出店地域での「8番らーめん」ブランドの確立、新規出店、スクラップアンドビルドに取り組むほか、高品質なラーメンスープ・エキスの開発と生産体制の充実増強に努めております。当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、中華人民共和国（大連市）において、現地パートナーの都合による2店舗の閉店はありましたが、タイ王国で2店舗の出店があり112店舗（うちタイ王国107店舗、香港5店舗、前期末比同数）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益（売上高とロイヤリティ収入等の合計）は、タイ王国での店舗売上好調に加え、主に連結対象会社数の増によるスープ・エキス売上の増加により、1億8百万円（前年同期比97.7%増）、経常利益は40百万円（前年同期比14.1%増）となりました。

（2）連結財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ2億18百万円増加して53億50百万円（前連結会計年度比4.3%増）となりました。これは主に長期貸付金が59百万円減少したものの、売掛金が1億51百万円、機械装置及び運搬具が83百万円増加したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ75百万円増加して16億41百万円（前連結会計年度比4.8%増）となりました。これは主に買掛金が40百万円、賞与引当金が46百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1億43百万円増加して37億8百万円（前連結会計年度比4.0%増）となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が86百万円、利益剰余金が37百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期及び第2四半期（累計）における連結業績予想は、平成26年4月30日に公表しました「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載した数値から修正しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であった株式会社ハチバントレーディング（タイランド）は、重要性が増したため連結の範囲に、持分法非適用関連会社であったダブルフラウリングカメラ株式会社は、重要性が増したため持分法適用の範囲に含めております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	427,889	394,256
売掛金	321,180	472,444
商品及び製品	55,217	82,078
原材料及び貯蔵品	25,369	28,821
繰延税金資産	68,974	84,565
その他	138,675	159,919
流動資産合計	1,037,307	1,222,085
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	708,260	702,209
機械装置及び運搬具(純額)	233,721	317,429
工具、器具及び備品(純額)	156,869	151,121
土地	1,079,594	1,079,594
建設仮勘定	4,520	—
有形固定資産合計	2,182,965	2,250,355
無形固定資産	40,704	38,895
投資その他の資産		
投資有価証券	1,064,619	1,121,557
長期貸付金	131,380	71,700
関係会社出資金	72,292	72,292
差入保証金	312,220	313,571
保険積立金	227,813	227,936
繰延税金資産	59,347	28,664
その他	28,036	27,680
貸倒引当金	△24,788	△24,457
投資その他の資産合計	1,870,921	1,838,945
固定資産合計	4,094,591	4,128,196
資産合計	5,131,898	5,350,281

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	221,135	261,752
短期借入金	129,988	126,696
未払法人税等	82,942	79,894
賞与引当金	88,137	134,270
未払費用	260,657	268,533
その他	132,252	148,575
流動負債合計	915,112	1,019,723
固定負債		
長期借入金	259,045	229,840
長期末払金	213,751	213,751
長期預り保証金	178,831	178,441
固定負債合計	651,627	622,032
負債合計	1,566,740	1,641,755
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,518,454	1,518,454
資本剰余金	1,411,848	1,411,848
利益剰余金	685,708	723,089
自己株式	△7,965	△8,233
株主資本合計	3,608,047	3,645,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△42,888	43,640
為替換算調整勘定	—	△2,686
その他の包括利益累計額合計	△42,888	40,954
少数株主持分	—	22,412
純資産合計	3,565,158	3,708,526
負債純資産合計	5,131,898	5,350,281

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年6月20日)
売上高	1,502,857	1,544,420
売上原価	734,561	784,092
売上総利益	768,295	760,327
営業収入	137,422	135,335
営業総利益	905,717	895,662
販売費及び一般管理費		
運賃	66,247	65,276
役員報酬	28,352	25,775
給料及び手当	304,110	308,040
賞与引当金繰入額	34,919	40,016
退職給付費用	4,659	4,558
地代家賃	63,747	60,132
水道光熱費	45,450	42,933
減価償却費	16,146	18,592
その他	247,592	247,658
販売費及び一般管理費合計	811,225	812,986
営業利益	94,491	82,676
営業外収益		
受取利息	2,408	2,236
受取配当金	91,822	86,359
受取地代家賃	14,963	12,997
受取保険料	—	422
受取手数料	2,043	2,280
設備賃貸料	1,751	270
その他	1,434	2,509
営業外収益合計	114,425	107,075
営業外費用		
支払利息	614	676
賃貸費用	14,217	12,474
為替差損	6,445	—
持分法による投資損失	—	2,936
その他	16	482
営業外費用合計	21,293	16,570
経常利益	187,623	173,181
特別損失		
固定資産除却損	111	22
特別損失合計	111	22
税金等調整前四半期純利益	187,512	173,159
法人税、住民税及び事業税	89,500	83,500
法人税等調整額	△5,891	△8,239
法人税等合計	83,608	75,260
少数株主損益調整前四半期純利益	103,903	97,898
少数株主利益	—	1,109
四半期純利益	103,903	96,789

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年6月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	103,903	97,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,754	86,529
為替換算調整勘定	—	2,136
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△3,733
その他の包括利益合計	1,754	84,932
四半期包括利益	105,658	182,831
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105,658	180,632
少数株主に係る四半期包括利益	—	2,198

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月21日 至平成25年6月20日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外食事業	外販事業	海外事業	合計		
営業収益(注) 1						
外部顧客への営業収益	1,413,534	172,086	54,657	1,640,279	—	1,640,279
セグメント間の内部営業収益又は振替高	123,007	3,455	18,469	144,933	△144,933	—
計	1,536,542	175,542	73,127	1,785,212	△144,933	1,640,279
セグメント利益	203,997	1,001	35,094	240,092	△52,468	187,623

(注) 1. 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2. セグメント利益の調整額△52,468千円には、各セグメント間取引消去496千円、各セグメントに配分していない全社費用△52,964千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の経営管理に係る部門の費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月21日 至平成26年6月20日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外食事業	外販事業	海外事業	合計		
営業収益(注) 1						
外部顧客への営業収益	1,406,433	165,247	108,075	1,679,755	—	1,679,755
セグメント間の内部営業収益又は振替高	113,780	3,535	15,434	132,750	△132,750	—
計	1,520,213	168,782	123,510	1,812,505	△132,750	1,679,755
セグメント利益	185,769	114	40,050	225,934	△52,753	173,181

(注) 1. 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2. セグメント利益の調整額△52,753千円には、各セグメント間取引消去379千円、各セグメントに配分していない全社費用△53,132千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の経営管理に係る部門の費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。